

令和4年度 アウトリーチ型支援「合同研修Ⅱ」を開催しました

11月4日、12施設34名の看護管理者とメンバーを迎え「合同研修Ⅱ」を開催しました。

講義後のグループワークでは、各施設のめざす姿を語り、取り組み内容について情報を共有し、『方向性や評価指標』の検討を行いました。メンバーは、自病院の看護管理者の思いや取り組みをスタッフと共に実践していくことで『メンバーとしての役割』を再認識する場となりました。

講義：「取り組みの方向性や評価を
再確認しめざす姿を探求する」

講師：東京女子医科大学看護学部看護管理学
准教授 國江 慶子 先生



グループワーク

看護管理者・メンバーに分かれて実施しました。講師・グループのメンバーより具体的なアドバイスが得られました。



<参加者からの声>

- ・他の施設の取り組みが参考になった。
- ・同じような悩みを抱えていることが分かり、自分だけではないと励みになった。
- ・時間が足りないと思うくらい、他部署交流が有意義だった。
- ・講師の助言により、前向きな気持ちになれた。

<講師のからのメッセージ>

各病院の取り組みを、活発に話し合い共有できた活気のある会となりました。看護管理者・メンバーが、取り組みの変化を互いに語り合う・伝え合い、スタッフへフィードバックしていくことが大切です。ぜひ自組織で話し合ってみましょう。

ご参加ありがとうございました。 東京都ナースプラザ

